崇城大学

学生の心に火をつける。ポテンシャルを高め、未来という大空へ。

実学を志向し、各分野のプロフェッショナル育成を目標としている崇城大学。ITによる社会変革を見据え、AIやIoTの進歩による急速なDX（デジタルトランスフォーメーション）化やグローバル化にも先駆けてきた。その根源にあるのは「卒業までに未来への道筋を探してほしい」「将来は好きなことを職業としてほしい」という思い。そのための新しい学びやプログラム、プロジェクトに取り組んでいる。

やる気のスイッチを入れ学生の心に火をつける

中山峰男学長

「本学は社会に必要とされるプロフェッショナルを育成する大学です。そのために『なにを学んだか』ではなく『何ができるようになったか』を重視しています」と語る、崇城大学の中山峰男学長。学生一人一人の心にやる気の火をつけ、探究心が炭火のように長く燃えるための機会や仕掛けを用意している。例えばキャリア教育では学生の「学び」をデータ化し、教員と共有しながら指導を受けられる「eポートフォリオ」を導入。入学から卒業まで一人一人のふり返りの可視化を可能としている。また、「アントレプレナーシップ教育」にも力を入れており、全学部・全学科で「ベンチャービジネス」「イノベーション入門」などを履修することで、起業家志望の学生の支援はもちろん、就職希望の学生にも社会や企業で求められる課題発見・解決能力の成長を促している。

2025年を目途とした「eキャンパス」構想

AIやIoTなどを軸とするDX化は急速に進んでいる。崇城大学はそのような状況に先駆けて、2025年を目途とした「eキャンパス」構想を打ち出した。2年前には大学全体の情報教育の拠点「IoT・AIセンター」を設立、さらに「データサイエンティスト育成プログラム」を開講し、データを活用して新しい価値を創造できる人材の育成を図る。本プログラムは文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定された。中山学長は「デジタル化が進めば労働生産性が上がる。未来社会を見据えて全学的に取り組んでいきたい」と意気込む。

最先端ICTテクノロジーを整備しているIoT・AIセンター

キャンパス内で留学体験 生きた英語が身につく

デジタル化と歩を合わせるように進むグローバル化。崇城大学は2010年から講義型の英語教育を脱し「生きた英語」を身につける学習環境を整えた英語学習施設「SILC」を設置し、全学部・全学科が利用している。施設では、多くの外国人講師陣からコミュニケーション型の英語学習ができる。ハロウィンやクリスマスなどには仮装して英語を使うイベントなども開催しており、キャンパス内で「海外留学」しているような環境だ。現在、英語が公用語の企業や上司が外国人など社会での英語コミュニケーション能力は必須の場合も増えた。今年度の就職活動ではSILCを活用した学生が、英語の面接をクリアしてみごと内定を勝ち取るなどの成果も出た。

多様な学びの領域で先駆をなす崇城大学。今年度は、高校生の探究活動を支援する「高大接続プログラム」を立ち上げた。高校から大学へとシームレスに探究を継続することで高い専門性を持つ理系人材の育成を目指す。高大連携活動の歴史は長く、例えば、高校生が化学・物理・生物分野の研究を発表する「サイエンスインターハイ@SOJO」は今年で12回、建築物の耐震性を学習する「つまようじタワー耐震コンテスト」は今年で11回目だ。

その他にも、今年度より改組した生物生命学科や、美術学科の新コース「3Dアートコース」と「アートイラストレーションコース」など、自身の夢を実現できる教育プログラムとサポート体制が整う崇城大学。「学生たちが自分の殻を割って洋々と巣立ち、未来や可能性の大空を舞ってくれるよう願っています」と、中山学長は爽やかに結んだ。

17名の外国人講師による英語学習施設SILC

CLOSE UP

国内で唯一、自前の施設設備でのエアラインパイロット養成

実学重視の崇城大学、その象徴ともいえるのが、工学部宇宙航空システム工学科航空操縦学専攻。国内の大学で唯一、阿蘇くまもと空港に直結したキャンパスで工学士の学位と操縦資格を取得できる。また自前の施設設備で航空機使用事業許可を得ており、国内唯一の一貫教育によるパイロット養成コースでもある。エアラインが求めるプロフェッショナルの育成は至難ともいえるレベルだが、本コースは2012年に第1期生を送り出して以来、高い就職率を達成している。その就職先もJALやANAはじめ多彩だ。今年度は女子入学者が6名を数え、卒業生の中には卒業後2年で副操縦士になった女性もいる。

阿蘇くまもと空港に直結する空港キャンパス

CLOSE UP

高校生の探究活動を支援する高大接続プログラム

崇城大学では高校時代の探究活動を大学でも支援するための新入試制度「探究活動プログレス選抜」「探究活動アピール選抜」の二つを創設した。

「探究活動プログレス選抜」は、高校時代の研究テーマを発展させたいという意欲を評価する入試であり、専願での出願となる。出願資格は本学教員の研究支援を受けた生徒が対象。入学後は、1年生時より希望する研究室に配属され、研究を継続することができる。高校時代に選んだ課題を大学で発展させ、探究のプロセスを繰り返すことで、これからの社会において未知な課題にも対応できる力を身につける。この探究活動プログレス選抜は、4年間の授業料が50万円になる特待生制度「ミライクSTEAM」の対象入試となる。

「探究活動アピール選抜」は、高校時代の探究活動や課題研究をアピールする制度だ。併願可能の入試で、高校時代に取り組んだ探究活動の成果を評価する。

教授による高校生への探究活動支援の様子

崇城大学（私）
〒860-0082 熊本県熊本市西区池田4-22-1
☎096-326-6810（入試課）
https://www.sojo-u.ac.jp/
【学　部】薬学部、生物生命学部、工学部、情報学部、芸術学部

未来人育成特待生制度《通称 ミライク》

特待生制度を活用して大学で思う存分勉強や実習・実験・研究に励み、多くの友と、一生の師となる先生と出会い、有意義な学生生活を送ってください。そして、社会に大きくはばたいてください。

卒業迄の授業料がすべて無料に
ミライク プレミアム 4年間の授業料（薬学部は6年間） 0円

国立大学よりも安い授業料に
ミライク 50 4年間の授業料（薬学部は6年間） 50万円/年

※芸術学部は初年度授業料が0円になる「アートミライクプレミアム」と50万円になる「アートミライク50」があります。
※各ミライクの入学金・実習費等は別途必要になります。

オープンキャンパス 2022 開催日程（要予約）
工学部・情報学部・生物生命学部 7/23(土)・8/7(日)・9/3(土)
芸術学部・薬学部 7/24(日)・8/6(土)・9/4(日)
崇城大学 SOJO UNIVERSITY 〒860-0082 熊本市西区池田4-22-1 TEL:096-326-6810（入試課直通）
工学部 情報学部 生物生命学部 芸術学部 薬学部
そうじょう大学 検索
●詳しくは、崇城大学入試サイトをご確認ください。